

松山都市圏におけるICカードを用いた都市部公共交通と観光施設等の連携による公共交通利用転換実証実験

(平成16年3月～平成16年8月)

背景

- 近年ITの著しい進展により、複数のモードにまたがる交通料金の支払いや観光施設の入場料等の支払いを一枚のICカードで済ませることが技術的に可能となっています。
伊予鉄道㈱ではこうした多機能なICカードを活用して、電車やバスの切符購入時に面倒な現金支払いの手間を軽減できるメリットを利用者にアピールするとともに、観光施設の入場料等の割引を組み合わせることにより、マイカーから公共交通への利用転換促進を図ることを目的としています。

実験の概要

- 【実施の主体】 伊予鉄道株式会社
- 【実施期間】 平成16年3月～平成16年8月
- 【実験の内容】

プリペイド方式の非接触ICカードを発売し、利用者が1枚のカードを使って市内電車・バスの運賃支払い、観光地での入場料等の支払いを可能とするカードサービスを提供する。(発売するICカードの金額は大人2000円、子供1000円で上限額5000円までのチャージが可能)対象となる路線は、バスは、伊予鉄バス都心循環線(東西線・東南線)全線、軌道については、伊予鉄道市内電車(軌道)全線とする。

また同時に、ICカードで支払いができる提携観光施設は、松山城ロープウェイ・リフト、松山城天守閣、道後温泉本館、子規記念博物館、愛媛県立美術館、子規堂、大観覧車くるりんを対象とし、入場料金等の割引を実施する。



路面電車・ループバスの利用もICカードでOK!



環境にやさしい電車・バス



観光施設利用もICカードで!

実験の成果

実験期間中におけるICカードの発売予定枚数は、当初予定の3,000枚を超える5,154枚であった。

実験後の状況

実験の結果を踏まえ、平成17年8月末から電車・バス・タクシーを対象としてICカードを導入する予定。